

町田市バイオエネルギーセンターの火災被害に関する対応について

町田市バイオエネルギーセンター内で発生した火災被害に関する対応状況について報告します。

1 2022年2月・6月に発生した不燃・粗大ごみ処理施設の火災

(1) 施設の状況

火災で焼損した照明、放送設備、建築設備の復旧は2023年3月に完了しました。不燃・粗大クレーンは応急復旧の状態で使用を続けており、世界的に半導体・電子部品の供給不足が続いているため、復旧が完了するのは2025年4月の見込みです。

(2) 公益社団法人全国市有物件災害共済会（以下、「共済会」）

2023年6月に判明した建築主要構造物の火害調査結果により復旧内容が確定したことから、概算見積金額を市が精査し、共済会へ提出しました。2024年2月19日に共済会による町田市バイオエネルギーセンターの現地調査及びヒアリングが行われ、最終的な確定作業に入っています。内容が確定すると、予定災害共済金が試算されます。共済金の支払いは工事完了後おおむね3か月程度で行われる見込みです。

(3) 損害および増加費用に関する運営事業者との協議について

市が一時負担しているごみの外部処理費用等と、運営事業者が一時負担している設備復旧に係る費用等について、災害共済金の試算結果も踏まえ、最終的な負担の確認を進めてまいります。

2 2023年11月4日に発生したバイオガス化前処理設備の火災

2023年12月に行政報告をした、「11月4日の町田市バイオエネルギーセンター内バイオガス化前処理設備で発生した火災について」の、その後の状況について報告します。

(1) バイオガス化施設で処理できないごみの処理応援について

火災発生以降燃やせるごみはすべて焼却処理していますが、焼却設備の処理能力を超えるため、外部の清掃工場でごみの処理を応援していただいています。

処理応援期間	処理量	処理応援先
2023年12月 1日～ 12月15日	830トン	多摩ニュータウン環境組合 多摩清掃工場
2023年12月25日～ 2024年 2月 9日	471トン	八王子市 館クリーンセンター
2024年 4月～（予定）	10,400 トン	多摩ニュータウン環境組合 多摩清掃工場（未定）

(2) 発酵槽の状態保持

前処理施設が焼損したため、ごみのバイオガス化処理が行えない状態ですが、発酵槽からガスエンジン発電機までの設備に被害はありませんでした。発酵槽内にはバイオガス化処理に必要な微生物が生育しており、早期の復旧には発酵槽の状態を維持していくことが必要です。発酵槽の状態保持については方策を検討し、本復旧までの間維持します。

(3) 前処理設備の本復旧工事

設備の現状復旧に加えて火災の再発防止策を行う必要があります。このため設備の追加を含めた必要な対策について、事業者と協議を進めています。

施工時期	工事工程
2024年 7月～	焼損設備の解体撤去、新規部品の搬入据付
2025年 2月	設置完了

設備復旧後、発酵槽内の状態を確認しながら2025年6月まで試運転を行い、通常操業に移行してまいります。

(4) 市民への周知・啓発について

11月に発生したバイオガス化施設前処理設備の火災の原因は、燃やせるごみに混入していたリチウムイオン電池が原因と推定されています。そのため、適正排出について、広報誌を通じて啓発を行っています。

